【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】令和2年4月9日(2020.4.9)

【公開番号】特開2019-113403(P2019-113403A)
【公開日】令和1年7月11日(2019.7.11)
【年通号数】公開・登録公報2019-027
【出願番号】特願2017-246650(P2017-246650)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｔ　7/00　(2006.01)
Ａ６１Ｂ　6/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｔ　7/00　Ａ
Ａ６１Ｂ　6/00　３００Ｓ

【手続補正書】
【提出日】令和2年2月21日(2020.2.21)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
特許文献１には、この脚部の構成として、複数の円柱状の凸部が離間して配列された構成と、凸部が枠状に形成された構成と、凸部が蜂の巣状又は格子状に形成された構成等が記載されている。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
【特許文献１】特開２０１１－０６９７４０号公報
【特許文献２】特開２０１６－０３３５１６号公報
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
【図１】本発明の放射線検出装置の一実施形態である電子カセッテ１の概略構成を示す図である。
【図２】図１に示す電子カセッテ１のＡ－Ａ線の断面模式図である。
【図３】図１に示す電子カセッテ１の支持部材２０及び補強部材３０をＸ線入射側と反対側から見た平面図である。
【図４】図１に示す電子カセッテ１の回路基板４０の変形例を示す図である。
【図５】図４に示す回路基板４０の配置例を示す図である。
【図６】図１に示す電子カセッテ１の第一の変形例である電子カセッテ１Ａの断面を示す図であり、図２に対応する断面図である。
【図７】図１に示す電子カセッテ１の第二の変形例である電子カセッテ１Ｂの断面を示す

図であり、図２に対応する断面図である。
【図８】図１に示す電子カセッテ１の第三の変形例である電子カセッテ１Ｃの断面を示す図であり、図２に対応する断面図である。
【図９】図１に示す電子カセッテ１の第四の変形例である電子カセッテ１Ｄの断面を示す図であり、図２に対応する断面図である。
【図１０】図１に示す電子カセッテ１の第五の変形例である電子カセッテ１Ｄａの断面を示す図であり、図２に対応する断面図である。
【図１１】図１に示す電子カセッテ１の第六の変形例である電子カセッテ１Ｅの断面を示す図であり、図２に対応する断面図である。
【図１２】図３に示す補強部材３０の第一の変形例である補強部材３０Ａを示す図である。
【図１３】図３に示す補強部材３０の第二の変形例である補強部材３０Ｂを示す図である。
【図１４】図３に示す補強部材３０の第三の変形例である補強部材３０Ｃを示す図である。
【図１５】図１に示す電子カセッテ１の第七の変形例である電子カセッテ１Ｆの概略構成を示す図である。
【図１６】図１５に示す電子カセッテ１ＦをＸ線入射側から見た平面図である。